

11月給食たより



11月23日は勤労感謝の日です。わたしたちが食べている食べ物は、いろいろな人によってつくり、届けられています。さまざまな人の労力があるおかげで、わたしたちは食事をすることができています。



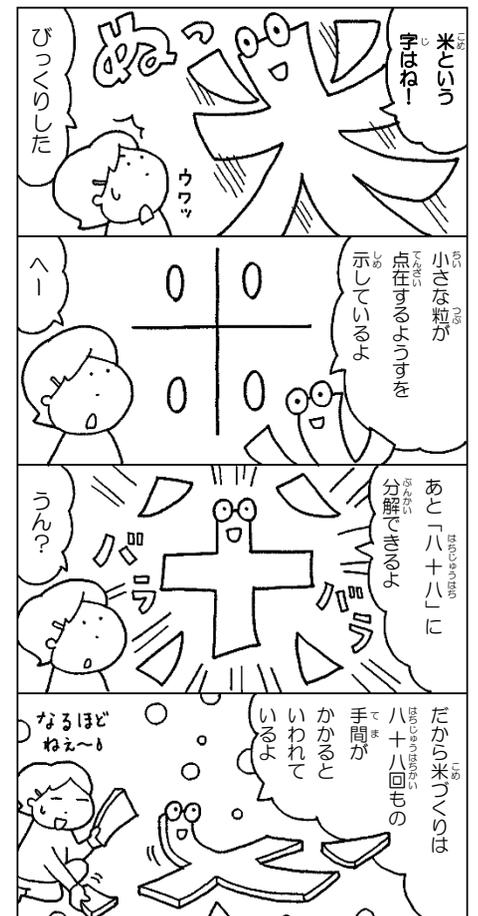
がっこうきゅうしょく

学校給食にかかわっている人たち



学校給食には、多くの人がかかわっています。献立を考える栄養士、その献立をもとに調理をする調理員、できた給食を運ぶ配送員、食べ物を育てたりとったりする生産者、食べ物を運ぶ運送業者などです。ほかにもいろいろな人が学校給食を支えています。その人たちへ、感謝の心を持って食べましょう。

「米」という字

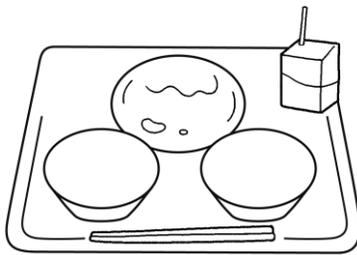
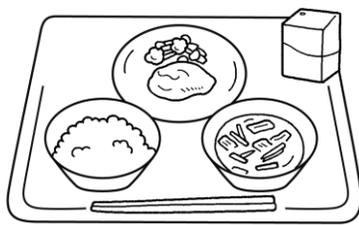


「米」の漢字を分解すると「八十八」になります。このことから、米づくりは88回もの手間がかかるといわれています。現在は便利な機械がありますが、それでもたくさんの手間がかかります。農家さんに感謝して、味わって食べましょう。

食事のあいさつをしましょう

いただきます

ごちそうさま



日本では、食事の前と後に「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつをします。感謝の気持ちを込めて食事のあいさつをして、残さず食べましょう。

新米の季節です



店頭で並んでいるお米に、「新米」の表示が自立つようになりました。お米は、昔から日本人の食卓に欠かせないもので、炊いたご飯を主食として食べるほか、もちやだんごなど、さまざまなものに加工されてきました。

お米からできるもの

